

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2000-9483 (P2000-9483A)
 【公開日】平成 12 年 1 月 14 日 (2000.1.14)
 【出願番号】特願 平 10-175552
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 1 C 21/00
 【F I】
 G 0 1 C 21/00 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 15 日 (2005.6.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

使用者からの命令を入力する入力部と、各リンク毎のリンクコスト情報を含む地図情報を収納する情報記憶部と、位置情報を取得する位置測位手段と、前記位置測位手段により取得した位置情報から走行中のリンクを特定するリンク特定手段と、走行時点での日時を取得する日時データ取得手段と、前記リンク特定手段で特定されたリンクと前記日時データ取得手段で取得された日時とを関連づけて記憶する記憶部と、前記入力部により経路探索が指示された際には、目的地までの経路を構成するリンクおよび該リンクを走行する時刻と前記記憶部に記憶されたリンクおよび該リンクに関連づけて記憶された時間とをそれぞれ照合し、一致するリンクがあった場合には前記一致するリンクのコストを下げてコスト計算した上で経路探索を行うように制御する制御部を有することを特徴とする経路誘導装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項 1 に記載の発明は、使用者からの命令を入力する入力部と、各リンク毎のリンクコスト情報を含む地図情報を収納する情報記憶部と、位置情報を取得する位置測位手段と、前記位置測位手段により取得した位置情報から走行中のリンクを特定するリンク特定手段と、走行時点での日時を取得する日時データ取得手段と、前記リンク特定手段で特定されたリンクと前記日時データ取得手段で取得された日時とを関連づけて記憶する記憶部と、前記入力部により経路探索が指示された際には、目的地までの経路を構成するリンクおよび該リンクを走行する時刻と前記記憶部に記憶されたリンクおよび該リンクに関連づけて記憶された時間とをそれぞれ照合し、一致するリンクがあった場合には前記一致するリンクのコストを下げてコスト計算した上で経路探索を行うように制御する制御部を有するものであり、使用者が頻繁に使用する道路情報を蓄積し、日時を考慮した上で各道路のコストに反映することにより、使用者の嗜好に合った経路探索結果を得る事が可能となるという作用を有する。なお、V I C S 等の外部からの渋滞情報が入手可能な場合に

は、コスト計算手段の中でその渋滞情報を各道路のコストに反映させることで対応する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】